# 　学校だより　「啐啄(そったく)」　H29.4.27　　　　　　　　　　校長　今井弘樹

新年度が始まり、４月８日の入学式では、２５９名の新1年生を迎え、新2年生２８１名、新3年生２９７名、２９学級、８３７名で瀬田中学校７１年目がスタートしました。新しい学年、学級になり、生徒たちは期待に胸を膨らませてスタートしてくれたと思っています。

あらためまして、この４月に本校校長として着任させていただきました 今井 弘樹 と申します。昭和６２年４月から１３年間、瀬田中学校にお世話になっておりました。先輩諸氏が築いてこられた輝かしい礎に新たな歴史と業績が刻めるよう、生徒のみなさんとともに精一杯頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

ところで、皆様は「啐啄(そったく)」という素敵な言葉をご存じでしょうか。「啐」はひなが卵の殻を破って出ようとして鳴く声、「啄」は母鳥が殻をつつき割る音です。「呼吸がぴたりと合うこと」「またとない好機」という意味で、[禅宗](https://kotobank.jp/word/%E7%A6%85%E5%AE%97-88346#E3.83.87.E3.82.B8.E3.82.BF.E3.83.AB.E5.A4.A7.E8.BE.9E.E6.B3.89)では「導く[師家(しけ)](https://kotobank.jp/word/%E5%B8%AB%E5%AE%B6-72905#E3.83.87.E3.82.B8.E3.82.BF.E3.83.AB.E5.A4.A7.E8.BE.9E.E6.B3.89)と修行者との呼吸がぴたりと合う」ことを意味するそうです。13歳から15歳という中学生の年代は、肉体的にも精神的にも大きく成長する年代です。大人になろうという自分、子供のままでいたという自分、それぞれが体の中に存在し、時には自分の意思に関係なく、それぞれの自分が日によって目まぐるしく変わって現れます。そんな生徒たちの姿を「啐」と考えますと、我々大人にとって「啐啄」は、生徒たちの心や行動が揺れ動いている時に、生徒たちの成長を助ける絶好の機会ととらえて、家庭と学校がぴったりと呼吸を合わせることだと考えます。そして、家庭と学校が生徒の自立を支援することだと考えます。

さて、早くも4月の学校での生活は3週間を終え、5月に入りゴールデンウィークを迎えようとしています。そんな中、1年生だけは、連休の合間の5月1日(月)から3日(水)まで、二泊三日、葛川少年自然の家で自然体験学習を行います。楽しいけれどちょっぴり辛いこともあるかも知れませんが、中学生になった自覚を持ち、1年生として学年や学級の団結をはかる、自然に包まれて成長できる、貴重な時間になってくれることを期待しています。

始業式では、新2年生の皆さんには、下級生を迎え、中堅学年として下級生をリードする立場になること、後半は、三年生からバトンが渡され、生徒会活動をはじめ部活動などで中心になって学校をリードしていってほしい。そのことを意識して力を伸ばしてほしいと願いを伝えました。

新3年生の皆さんには、最高学年として、学校を背負って立ち、学校全体を引っ張っていく大きな存在となること。来年の3月には本校を巣立っていくけれども、その前に進路選択という大事な場面を迎えることから、夢や希望をもち、胸を張って卒業していけるようこれからの学校生活で力を発揮しほしいと語りました。

新1年生、新2年生、新3年生の８３７名のすべての生徒たちにとって、この1年間の”今しか体験できない場面や機会”が、「啐啄」という意味のとおり、大人への成長の”またとない好機”になることを強く願っています。

○ ４月にスタートを切ったばかりの生徒たちに伝えたい

～「これから始まる生活で大事にしてほしい言葉」

元ヤンキースの松井秀喜の母校　石川県　星稜高校　野球部　山下智茂　元監督　の言葉。

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」

『過去を変えることはできませんが・・・』　未来は、心や気持ちを変えることで、皆さんの人生を、生き方をどのようにも変えることができる。この一年の初めにあたり、自分の可能性を信じて、自分の力より少し高い目標を設定し、「やってやるぞ」と思いを絶やさないで、『挑戦』を!!

○『瀬田中の生徒はすごいなぁ』と思ったことは、こんなことです。

* 1. 春休みに、部活に来ている皆さんが、初めて出会った、私に、気持ち良くあいさつをしてくれたこと。
	2. 瀬田中学校　平成27年製作・上映　ビデオ作品　「2016　シンデレラの仕返し」

　　　最後の言葉。

　　　 シンデレラは、いじわるなまま母や姉に仕返しなんかしなかったろう。

いじわる　や　ちょっかい　や　いやがらせ　や　仕返し、・・・・・・・・

人とのかかわり方を間違えると簡単に集団から孤立してしまう。

そのつど、自分の振る舞いを見つめ返して、反省する。・・・・・・・・

　　　私たちは失敗を繰り返しながら、少しずつ成長していく。

* 1. 昇降口に掲示されている　『瀬田中のあたりまえ』について

1.　あいさつをする

2.　話を聴く

・・・尋ねる。質問する。

3.　くつをそろえる。

* 1. 『瀬田中の３Ｓ運動』について

本校では、教育目標「きたえ　高め合い　学び続ける子供」のもと、「当たり前のことを

当たり前のようにできる」ことを目指して、３Ｓ運動を展開しています。　その３Ｓ運動は、

　・さわやか挨拶　いつもニコニコ

　・スッキリ環境　授業もイキイキ

　・すすんで活動　みんなキラキラ　の３つ。

「あいさつすること、授業を大切にすること、時間を守ること、何事にも前向きな姿勢をもつ　こと」を当たり前のようにできる生徒になってほしいということです。